

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	中国語 I B (Chinese I B)					担当教員	白雪晴 (バイ ショエチン)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/ 資格対応科目
	2011-0-12-014	教養科目	選択必修	2 単位	1 年次	通年		
2024-26 年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL/ 資格対応科目
	2411-0-12-012	教養科目	選択必修	2 単位	1 年次	通年		

① 授業のねらい・概要						
国際化を鑑み、隣国である中国への理解と教養を養い、言語の基本を学ぶ。また、中国語検定試験 4 級に達するレベルを目指す。中国語がどのような言語であるのか、発音の基礎、簡単な決まり文句、挨拶などの日常会話、自己紹介などを学ぶ。具体的には、キレイな中国語の発音ができ、文章はピンインなくても読め、慣用句的な文法を理解したうえ、ある程度の長い文章が書ける。隣国を理解することによって、日本の地域社会に貢献できる人材を目指す。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
コミュニケーション能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
講師の発音指導、説明を主とし、CD も毎回聞き補充手段にする。板書、配布印刷物、視聴覚メディア等を活用する。中国語の土台を築くため、試行錯誤をしていく。提出物、作文の作成練習もある。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
特になし						
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。						
楊凱榮、張麗群 (2015)『LOVE! 上海 初級中国語 (第 1 版)』朝日出版社						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
教材つきの CD を、繰り返し聞き、復習をすることが一番肝心。 月刊誌「人民中国」を読むことが望ましい。ニュースでの中国に関する内容に注目してほしい。						
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
一年の勉強だけでも、中国語、中国への理解は人並みをはるかに超えるはず。単位の取得だけでなく、有意義な一年間をめざそう。振り向かうとき、一步一步努力してきた自分に誇れる人間になろう。						
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 学生が文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す。 (2) 学生が中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける。 (3) 学生が、ピンインをほぼ読める。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す	学生が文法を把握でき、日中、中日翻訳ともできる。	学生が文法を大抵把握でき、文章訳も通じる程度に達す。	学生が文法の 60% を覚え、文章の半分以上訳せる。	学生が文法を半分程度に覚え、翻訳能力は 50% に達する。	学生が文法への把握は半分以下。
(2)	中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける	学生が、中国語と日本語の違いを明確し、文章の順番を正確にわかる。	学生が中国語の順番をほとんどわかる。漢字も正確に書ける。	学生が中国語の順番への把握はほぼできる。	学生が中国語の順番の肝心な部分がわかる。	学生が中国語の順番の正確さは、半分以下。
(3)	ピンインをほぼ読める	学生が、発音記号のピンインを正確に発音ができる。	学生が、ピンインをほぼ読める。	学生がピンインの発音の正確さは 80%。	学生が、ピンインの半分以上は発音ができる。	学生が、自分で発音ができる場合は 50% 以下。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	50%	20%			30%		100%	
(1) 正確的に読む	20%	10%			10%		40%	
(2) しっかり書く	20%	10%			10%		40%	
(3) 小作文を書く	10%				10%		20%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	提出物は添削して返却し、解説の時間も設ける。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	中国という国、中国語の特徴、発音記号のピンインを紹介する、声調、単母音を覚える。学生の名前の中国語読みの練習。	授業内容を復習						60分
2	子音、複母音の一部、中国のメーデー、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
3	複母音の一部、ピンインの表の発音練習、中国の「6・1児童節」、練習問題	CDで授業内容の復習、提出物を確認						60分
4	ピンインの表の発音練習、第1課「吗」疑問文を中心とする、「7・1中国の共産党の誕生日」、練習問題	CDで授業内容の復習、提出物を確認						60分
5	ピンイン表の発音練習、第2課疑問詞疑問文を中心とする、中国の「端午の節句」、ピンイン入力、練習問題	CDで授業内容の復習、ピンイン入力で中国に関する検索						60分
6	ピンイン一覧表の発音練習、第3課動詞の「在」及び量詞、中国に関する医療事情、練習問題	CDで授業内容の復習、ネットで中国に関する検索						60分
7	ピンイン表の発音練習、第4課動詞の「有」及び家族の言い方、講師の故郷紹介、練習問題	第4課の復習						60分
8	ピンイン一覧表の発音練習、第5課副詞の「不」「都」を中心とし、中国の今の出来事、練習問題	CDで授業内容の復習、中国語での入力の確認と練習						60分
9	第6課形容詞述語文を中心とし、中国の「9・10教師の日」、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
10	第7課正反疑問文及び名詞述語文、「10・1国慶節」、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
11	第8課副詞の「不」「都」を中心とし、「旧暦の祝日と新暦の祝日」、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
12	第9課副詞の「还」及び連動文、中国の若者の生活、小作文	CDで授業内容の復習						60分
13	中国語映画、文化分析を入れる	各自試験へ向かって準備						60分
14	第10課助動詞「会」及び主題文など、中国の「11・11独身の日」、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
15	試験対策	各自試験勉強						60分
16	復習課、1～10課のまとめ、中国のクリスマス、練習問題	各自復習						60分
17	第11課副詞の「有点儿」及び前置詞の「离」、「3・8婦女の日」、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
18	第12課存現文、比較する表現、中国人はなぜギョウザを食べるのか、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
19	第13課値段の言い方及び副詞の「再」、中国の一人っ子政策とその後、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
20	第14課結果補語、副詞の「才」「就」、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
21	第15課方向補語及び離合詞、中国で人気の職業、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
22	第14課と第15課の復習とまとめ、動詞の補語についてもう一度考える	各自提出物の整理						60分
23	第16課主述述語文、二重目的語、京劇の話し、練習問題	CDで授業内容の復習						60分
24	第17課方向補語その二、兼語文、中国での日本料理	CDで授業内容の復習						60分

25	第 18 課前置詞「跟」、接続詞「而」、小作文	CD で授業内容の復習	60 分
26	中国映画『あの子を探して』	映画で聞き取れた中国語の整理	60 分
27	映画の続きを見る、中国の教育事情、映画事情など	各自の復習、試験への準備	60 分
28	第 19 課様態補語を中心とする、中国の「春節」、大量の練習問題	CD で授業内容の復習	60 分
29	試験前の復習	CD での復習、練習問題を確認や整理	60 分
30	試験対策	各自復習	60 分
⑫ アクティブラーニングについて			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性